

## 観光社会資本の事例

テーマ	歴史のまちをながれる清流
<p>【施設の状況写真】</p>  <p>名勝錦帯橋や城下町の景観にも配慮して整備したうかい広場は、市民の憩いの場にもなっている。</p>	
<p>【施設の利用写真】</p>  <p>県内有数の桜の名所でもあり、春先には、多くの花見客で賑わう。</p> <p>名勝「錦帯橋」をバックに行われる伝統的な鵜飼や夜空を彩る花火大会は錦川の夏の風物詩となっている。</p>	
<p>【観光資源としての利用状況】</p> <p>錦川は、山口県と島根県の県境に源を発し、中国山地を流下して山口県東部の岩国市において瀬戸内海に注ぐ県下最大の2級河川である。</p> <p>観光面では、平成13年～16年にかけて行われた半世紀ぶりの錦帯橋の架け替えが注目を浴びたことはまだ記憶に新しく、錦帯橋上流右岸側に整備された「うかい広場」はその名の通り、錦川の夏の風物詩である鵜飼の屋形船の発着場であるとともに、4月29日の「錦帯橋祭り」、8月第1土曜日の「錦川水の祭典(花火大会)」では、多くの観光客で賑わっている。また、春には桜、秋には紅葉の名所として、地元市民をはじめ多くの人々に親しまれている。</p>	

テーマ	歴史のまちをながれる清流
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 錦川</p> <p>○所在地 山口県岩国市横山</p> <p>○事業名 広域基幹河川改修事業</p> <p>○事業主体 山口県</p> <p>○事業期間 昭和44年～平成50年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>○治水効果</p> <p>錦川下流域は、過去、台風や梅雨前線の集中豪雨によって、市街地が頻繁に浸水被害を受けていた。現在1期施工区間(錦帯橋～御庄橋)を計画高水流量<math>Q=2,450\text{m}^3/\text{s}</math>で整備を進めており、当該区間周辺においては、近年は大きな水害が起こっていない。</p> <p>○ふるさとの川整備事業</p> <p>平成4年に、ふるさとの川整備事業の計画認定を受け、名勝錦帯橋や城下町の景観にも配慮し、『歴史のまちをながれる清流』をメインテーマに鋭意整備が進められており、整備済の「うかい広場」は鶺鴒の発着場や様々なイベント等が行われ、市民の憩いの場にもなっている。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>岩国観光協会 <a href="http://www.iwakuni-kanko.jp/">http://www.iwakuni-kanko.jp/</a></p>	